

共同研究成果報告書

平成 22 年 4 月 9 日

研究代表者

専攻・期 社会系教科教育専攻 第 11 期生

住 所

氏 名 大 畑 健 実



電 話

共同研究成果報告書を下記のとおり提出いたします。

記

研 究 題 目	小中高等学校における言語活動を視点とした教育実践方法に関する研究
研 究 目 的	言語活動を授業実践にどのように組み入れれば、児童生徒の言語能力を高めるとともに思考力を深めることができるのかについて、その教材及び授業構成方法を明らかにする
研 究 組 織	大学院同窓会員
	神尾 義敬
	大畑 健実
	石原 一則
大学教職員	堀江 祐爾
研 究 成 果	<p>○「言語活動の充実」を視点に研究交流会を実施することができた。</p> <p>実践発表 1 「教員の不安を解消しながら取り組む外国語活動カリキュラムづくり」 静岡市庵原清水小学校</p> <p>実践発表 2 「目的意識と読みの方略により読む力を培う学習指導～教える活動を設定した説明的文章の実践」 熱海市多賀小学校</p> <p>実践事例 3 「教職員の資質能力及び意欲向上に結びつけるためには」 浜松市立城北小学校</p> <p>指導・助言 ・各教科における言語活動の意義と具体例 ・新学習指導要領が求める授業づくり 兵庫教育大学教授 堀江祐爾先生</p> <p>大学院修了後も専門的な研究を継続する同窓生のつながりを維持しながら、研究成果を県内に広めることができた。</p>